



校長 落合浩一

【第 1 回学校説明会～平塚市中央公民館にて開催～】

平成 28 年 8 月 15 日（月）・16 日（火）の 2 日間、平塚市中央公民館にて今年度第 1 回となる学校説明会を開催した。会場収容人員の関係で、両日とも、午前・午後の日程で説明会を開催し、都合 2,050 名の参加者に来場いただいた。今年は、1 年生の発表を刷新しシンポジウム形式の発表を行った。発表内容は、三浦ふれあいの村での活動の様子や数学、英語の授業風景、そして部活動紹介や翠星祭体育部門の集団演技「フラッグ」の一部を披露するなど見ごたえのある内容となった。1 年生有志による発表であったが、6 月から準備を進め、堂々と自信をもって発表している姿に、本校で育成している「表現コミュニケーション力」が着実に育まれていることを実感した。今回は、学校説明会で校長より話した内容の一部を掲載させていただく。

【校長挨拶】

皆さん、こんにちは。校長の落合です。

本日は、平塚中等教育学校の第 1 回学校説明会にお越しいただき、ありがとうございます。

本校も今年で 8 年目を向かえました。あと少しで 10 年周年を迎えるまでの県立学校となりましたが、6 年間の教育をしているため、卒業生はまだ 1 期生と 2 期生ということで、まだまだ新設高校と同じように勢いをもって教育をしている学校です。

私からは、本校の教育の特色や教育方針等についてお話をさせていただきます。

まずはじめに、本校のホームページに「校長室の窓」というコーナーがあります。学校行事であるとか、生徒が活躍している内容を私の視点で掲載しています。ホームページを見ることが出来る方は、是非ご覧になってください。

次に平塚中等教育学校の設立ですが、平成 19 年 3 月に新校設置計画が公表され、平成 21 年に 1

期生が入学してきました。本校の前進は「県立大原高等学校」で、その大原高校の中に中等教育学校が設置されました。

目的ですが、本校では様々な取組みを行っております。そうした多彩で豊かな教育内容から「人それぞれが持っている個性や創造性を伸ばすこと」「これからの国際社会を生きていくために幅広い教養と社会性や独創性を伸ばす人材を育成すること」、そして「思いやりや未来を切り拓いていく意欲、行動力あるリーダーシップを発揮できる人材を育成すること」を目的として立ち上げた学校です。

平塚中等では、設立当初から受け継がれている言葉があります。スクールガイドの表紙を飾っていることば「君の夢は君の好奇心が大きくなる」です。生徒の夢を聞くと、例えば外交官になりたい！獣医師になりたい！パティシエールになりたい！と生徒によって様々な夢を持っています。その夢を大きく膨らませ実現可能とするためには、そのことに興味や関心、そして好奇心を持って取り組むことが一番大切です。楽しいことをするよりも、好きなことをするほうが自分に力が付く！それが好奇心であると代々受け継がれてきた言葉です！

こうした言葉をベースに、平塚中等ではどんな生徒を育てていきたいか！自分や他者の命や人権を尊重して社会に貢献する生徒を育てたい。

「かながわ」の地を愛し、まさに「かながわ」から国際的に羽ばたく生徒を育てたい。そして、自らの夢に向かって学び、考え、決断し、行動できる生徒を育てていきたい。要するに、自分のことはしっかりと自分でできる生徒、仲間と共に仲良く学校生活を送れる生徒、人の前で自分の考えや意見を言える生徒を育てていきたい、そうした生徒に入学して欲しいと願っています。次に主な教育プログラムですが、6 年間という非常に長い時間を過ごすわけです。従来は、中

学校 3 年間、高校 3 年間という区切りの中で学習を受けますが、本校では 3 年・3 年ではなく、2 年を一区切りとして教育を行っています。

1・2 年生を基礎・観察期として「将来の夢づくり」にあて、3・4 年生を充実・発展期として「生き方や進路に関する現実的探索」にあて、5・6 年次生を発展・伸張期として具体的な将来設計を立て、社会参画できる力を育成することをねらいに教育プログラムを計画しています。まさに前期生は「基礎づくり」に、そして後期生は「応用学習」に取り組み生徒の力をつけています。

日ごろの教育活動やカリキュラムでは、まず 1 年生は 5 クラス 32 人展開で入学時にきめ細かい指導を行い、2・3 年生は 4 クラスで、数学・英語などで習熟度別いわゆる理解度の違いによってレッスンクラスで授業を行っています。また 4 年次～6 年次生は、単位制のシステムとなり、自分の進路や興味・関心に応じて教科・科目を選択させるなどの教育課程となっています。

具体的に生徒にどのような力をつけて欲しいかと申しますと、将来を生きていくために必要となる 3 つの力「表現コミュニケーション力」＝相手の考えを知り、自分の考えを伝える力、そして、「科学・論理的思考力」＝論理的に理解して順序立てて筋道を立てて説明する力、最後に「社会生活実践力」＝獲得した知識や技能を使って課題を解決していく力、この 3 つの力を身に付ける教育を展開しています。

この 3 つの力は国語や社会、数学などといった「教科指導」、そして本校独自の科目として「かながわ次世代教養」、「学校行事」を通して身につけられるようにしています。

—「かながわ次世代教養」の内容についての説明は省略—

その他多彩な学校行事も行っていて、体育祭や文化祭、芸術鑑賞会、弁論大会、学習成果発表会、合唱コンクール、歩行大会などの行事を通して、そして部活動も運動部や文化部も前期生

と後期生が一体となって取り組んでいて、非常に活気あふれる学校生活を送りながら生徒に身に付けさせる 3 つの力を育成しています。

また 6 年間という長い期間を同じ校舎や敷地内で過ごすわけです。前期生などは、学校生活で困ったことがあったときすぐに相談できる相手となるスチューデント・メンターという制度をとっています。スチューデント・メンターとは、先輩である 4 年次生・5 年次生が前期生である 1 年～3 年までの学年に学校生活での支援を行うシステムです。毎年、20 名位の生徒が講習を受けて後輩の面倒を見ています。

これまで本校の教育の方針や内容を話してまいりました。6 年間学習した生徒がいったどのような進路を選択したかということ、多くの生徒が 4 年制大学に進学をしています。2 期の卒業生しかまだ巣立っておりませんが、国公立の大学はじめ、難関大学と言われている私立大学へも多くの生徒が進学をしています。きっとこれからもこの傾向は変わらず続いていくものと思っておりますし、生徒の自己実現をかなえるために引き続き指導をしていきます。

ここで保護者の皆様にお伝えしたいことがあります。6 年間という長いスパンでの教育です。これからの社会を生きていくためには、何が重要かという視点で学校では教育をしています。学校には一定の競争原理があります。そして生徒が自ら学習をしていく自学自習のスタイルを確立していきたいと考えています。当然のごとく生徒に自ら判断させる場面も多くなります。学校では自分の考え、行動に責任をもたせる教育をしています。学校でできることは学校で、家庭でなければいけないことはご家庭という方針であります。そここのところはご理解いただきたいと思えます。

これまで本校が大切にしてきたことです。生徒たちの活動、教員たちの指導、そして日ごろの授業＝生徒を見て欲しい、教員を見て欲しい、授業を見て欲しい、とこれまで初代の校長から

平成 28 年 8 月 19 日

私で 3 代の校長になりますが大切にしております。学校を見ていただく機会は今後もございます。是非、生徒たち、先生たち、そして授業を見て欲しいと思います。

私は今の生徒たちに期待していることがあります。自分の夢の実現に向けて自分で学習するスタイルと築くこと！そして「自分らしい生き方」とは多くの人との関わりから生まれます。その時の自分の考えや取組みで生き方は変わってきます。多くを学び、体験し、人とかかわりながら「自分らしさに磨きをかけて欲しい」と願っています。

終わりに、1 年生に入学して 1 年、1 年の学校生活、家庭生活を通して、本当に大きく成長して卒業していきます。繰り返しになりますが本校では多彩で豊かな教育を通して、未来を切り拓く、行動力ある、リーダーシップを発揮できる人材の育成を目指していることをご理解いただき入学をご検討ください。以上で校長の挨拶といたします。